



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第48号(2009年2月9日)



ドバイでのBMWの売れ行き

昨年のドバイでのBMWの売上は、前年比で17%増の4,221台となり、世界でもトップクラスの販売実績となりました。

金融危機に伴う景気減速によって、世界で販売台数が伸び悩む中、なんとも立派な実績です。なかでも特に、ニューモデルが登場した3シリーズと7シリーズの売上げが、それぞれ前年比で25%、7%の増加となり、貢献が大きかったとのこと。

懸念されている今年の販売についても、BMWのセールスマネージャーによれば、「ドバイでの消費者の高級車需要は依然として堅調であり、今年もニューモデルの投入を軸に、好調な販売となることを想定している。」とのこと。

(グッドバイ)

BMW 3シリーズ



BMW 7シリーズ



(BMW Dubai)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



世界未来エネルギーサミット開催

1月19日から21日までの3日間にわたり、アブダビのアブダビ国際展示場で世界未来エネルギーサミットが開催されました。サミットでは、世界各国の政府や、研究機関、300以上のエネルギー関連企業がエネルギー技術や製品の展示を行い、未来のエネルギーについて様々な議論が交わされました。サミットの参加者は3日間で前年比25%増の延べ15,000人に達し、将来のエネルギーに対する関心の高さが示されています。

(ミドル・イーストウッド)



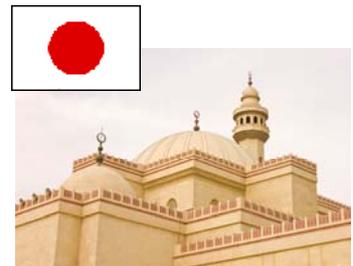
よくわかる中東情勢⑤

パレスチナの和平問題は、エネルギー問題や平和構築などの観点から日本にとっても重要な課題です。日本は、国際社会と連携しながらも、中東においてこれまで中立の立場をとってきており、両当事者から信頼されているという特長を活かして独自の取組を行っています。その取組とは、「政治的働きかけ」、「信頼醸成」、「対パレスチナ支援」の3つの柱であり、その総体として「平和と繁栄の回廊」構想があります。

政治的な働きかけとしては、イスラエル・パレスチナ双方に対し、首脳等の高いレベルで、一貫して和平交渉を支持し支援するという立場を明らかにし、和平に向けた双方の努力を促しています。

信頼醸成としては、合同青年招聘事業（しょうへい）などにより、地道な、しかし着実な支援をしています。

3つ目の柱はパレスチナ支援です。経済的に豊かなイスラエルに対し、パレスチナ自治区は貧困率が高く、経済が十分に発展しているとは言えません。パレスチナ人に対する経済的支援は、将来のパレスチナ国家としての自立を促し、対立の解消に役立つと日本は考えています。この考えに基づき、日本は93年のオスロ合意以降、約10億ドルにのぼる支援を実施しています。



(ミドル・イーストウッド)

出所：外務省



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



中東のタブーシリーズ④ <刑罰>

今回はイスラム教の刑罰についてご紹介します。イスラム教の刑罰は厳しいことで有名であるということは、ご存知の方も多いと思います。イスラム教には大きく分けて3種類の刑罰があります。

■ 同害報復刑「キサース刑」

加害者が成人・十分に知識がある人物・被害者と同等の立場である場合、被害者もしくは相続人が同程度の報復をできるというもの。「目には目を、歯には歯を」という考えに基づく。

■ 固定刑「ハッド刑」

コーランなどで言及されている為に量刑が変更できない刑。飲酒には鞭打ちの刑、窃盗には手首の切断、追いはぎ・強盗には右手・左足の切断、故意の殺人に対しては死刑等が処せられる。

■ 裁量刑「タージュール刑」

イスラム法に刑罰が定められていない犯罪に対して、裁判官が自らの力量で刑の重さを決めるもの。賄賂、利子の取得、文書偽造などがこれにあたり、鞭打ち、禁固刑、財産没収などが科せられる。

日本では懲役の様に、刑務所に服役して償うことが多いことを考えると、大きく違うことがわかります。

ではそもそも、なぜイスラム教では厳罰に処せられるのでしょうか。

それは、人間は“弱い存在”とされているからだそうです。弱いからこそ、誘惑に負けて悪事を働いてしまうのだ、という前提に基づいています。女性が全身を長い布で多い、できるだけ露出部分を減らすのも、誘惑に負けた男性によって危害を加えられないようにするためだそうです。

また、イスラム教では、「アッラー」が唯一絶対の神とされ、最後の預言者である「ムハンマド」を通じて人々に伝えられた“コーラン”の教えが信じられています。刑罰というのは、この唯一神「アッラー」の教えに背いた罪として科せられるものなのです。

このように、犯罪に対する罰則が厳しいアラブ社会。

この厳罰は相対的な治安の良さにつながっています。



(マグニチュートー8.2)

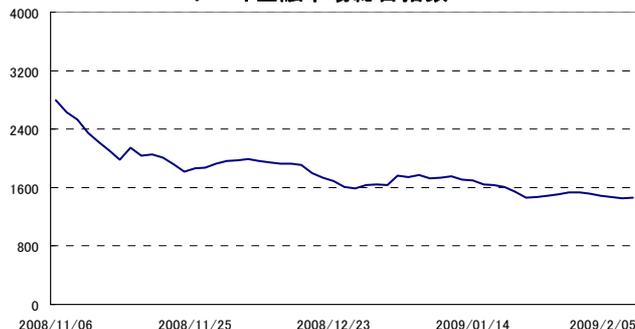


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。